

近代美人画 百花繚乱

松園、清方、深水、夢二
培広庵コレクションを中心に

江戸時代に流行した浮世絵美人画は、花魁や芸妓等のプロマイド的な用途も果たし、爆発的な人気を誇りました。明治維新を経て近代に入ると、欧米文化の影響や写真・印刷技術の向上等によって、浮世絵は低迷したものの、美人画は新たな展開を見せます。清新で洗練された近代美人画においても、江戸時代の衣装や風俗への憧れは強く、前時代の好み画面のあちこちに見られます。大正期から昭和初期に、美人画は最も輝きを放ちますが、培広庵コレクションはまさにこの黄金期の優品を集めたものです。美人画といえばまず名前のがる上村松園、鏗木清方、伊東深水、竹久夢二らをはじめ、先駆的な役割を果たした渡辺省亭や幸野楳嶺、異色な画風の島成園や北野恒富、岡本神草らによる多彩な作品群は、まさに百花繚乱とうたわれるべき魅力に満ちています。特別出品作5点を含め、選りすぐりの約90点による、華麗で優美な美人画の世界をどうぞ堪能ください。



鏗木清方《秋の鐘》1947年
©Kiyoo Nemoto 2023/JAA2300043



島成園《化粧》1915年頃



吉川観方《加茂川舞妓夕涼図》1914年頃

関連イベント

コレクターによるギャラリートーク

講師：培広庵氏
日時：4月8日(土) 午後2時～
会場：ふくやま美術館1階 企画展示室
定員：40名
*特別展観覧券が必要、先着順、事前応募不要

記念講演会「美人画と近代の乙女」

講師：梶岡 秀一氏
(京都国立近代美術館 主任研究員)
日時：4月23日(日) 午後2時～
会場：ふくやま美術館1階 ホール
定員：100名 *聴講無料、先着順、事前応募不要

学芸員によるギャラリートーク

日時：4月29日(土・祝)、5月14日(日)
午後2時～
会場：ふくやま美術館1階 企画展示室
*特別展観覧券が必要、事前応募不要

ワークショップファミリー・アート教室

「家族でつまみ細工体験！」

「和のブローチをつくりましょう」

つまみ細工とは七五三や成人式など、晴れの日を彩る装飾品として人気のある伝統工芸です。本展で紹介する「美人画」のなかの女性たちも、つまみ細工による髪飾を身につけた姿で多く描かれています。皆さんも家族でつまみ細工を体験し、日本ならではの「和」の文化に触れてみませんか？

講師：安谷 由紀氏
(つまみ細工 ゆきいちご主宰)

日時：4月15日(土)
午後1時30分～午後4時
会場：ふくやま美術館2階 工芸版画室
参加費：1人 2,000円

定員：15組 *応募多数の場合は抽選
対象：小学生～高校生とその保護者
応募方法：往復ハガキまたは市HP電子申請システム(3月1日(水)応募開始)に「イベント名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「参加される方の名前(保護者・子ども)」「子どものみ年齢・学年」を記入し、ご応募ください。
募集締切：3月30日(木) 必着



竹久夢二《投扇興》(部分)1917年頃



伊藤小坡《宴の暇》(部分)1934年



山川秀峰《紅衣》1924年頃

同時開催

春季所藏品展
「大正アート・デモクラシー
—個性の時代の美術—」
4月6日(木)～6月25日(日)



お問い合わせ・ワークショップ応募先

ふくやま美術館
〒720-0067
広島県福山市西町二丁目4番3号
Tel. 084-932-2345 Fax. 084-932-2347
Twitter: @fukuyama_bi

交通案内

・JR福山駅福山城口(北口)から西へ400m
・山陽自動車道 福山東インターから車で20分
駐車場 68台 *特別展・所藏品展を観覧で1時間無料

FUKUYAMA MUSEUM OF ART
ふくやま美術館

